

# 県政報告

## はしぐち海平

自由民主党

One for All, All for One

くまもとの未来のために。



皆さん、こんにちは。橋口海平です。日頃より皆様方には大変お世話になっております。思い起こしてみますと、私が熊本に戻ってきたのは26歳の時でした。当時私は東京から熊本を見た時に、活気が足りないように感じました。熊本をもっと元気にしたい。その思いで28歳の時に県議選に初挑戦をしました。その時は多くのご支援をいただいたのですが、残念ながら落選となりました。しかし多くの方々のおかげもあり、再度挑戦した32歳の時に初当選し、県議会へ送り出させていただきました。8年間議会ではラグビーワールドカップや女子ハンドボール世界選手権大会、E1702 環境の整備、人手不足や人材育成など、様々なことに取り組ませていただきました。特に今からは人口減少が進んでいく中、どのように時代に対応していくのか、ますます議論を深めていかなければなりません。しっかりと将来の熊本を見据えたビジョンを発信していかなければなりません。このたび3期目に挑戦するにあたり「くまもとの未来のために。」のスローガンを掲げさせていただきますが、未来を担う責任世代として、安心して暮らせる熊本の未来を創造していくことをお約束します。

また本年4月7日に行われます県議会議員選挙においては、3期目に向けてこれまで通り「one for all, all for one」の精神で取り組ませていただきます。今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願いたします。

熊本県議会議員 **はしぐち海平**

### ラグビーワールドカップに寄せて

海平さんは九州学院ラグビー部の2つ上の先輩で日頃より大変お世話になっております。高校時代はラグビーを通じて厳しくも優しく指導していただきました。海平さんにはラグビーワールドカップの誘致活動から、現在では大会の準備など、大会に向けて活動していることに対して、心より敬意を表します。

今年のラグビーワールドカップはアジア初となる日本で開催され、熊本でも試合会場の一つとなっております。熊本でワールドカップが開催されるのも海平さんのおかげだと思います。

試合では、選手たちの仲間の為に体を張る姿、1人の為にみんながカバーする姿や、試合が終わったらお互いの健闘を称え合う姿など、見どころが数多くございます。ラグビーワールドカップは国と国とのプライドのぶつかり合いです。そのためラグビーの試合前は異様な空気感があります。選手たちは仲間の為、国の為、試合前の恐怖感等、いろんなことを考えます。そのため、試合前には気持ちの高ぶりに涙してしまう選手もいます。その空気感を是非とも会場で感じてみてはどうでしょうか。

**尊敬 RESPECT**   **情熱 PASSION**   **規律 DISCIPLINE**

ラグビーは、リスペクト、パッション、ディシプリンを学べることができるスポーツです。また自分を犠牲にしても、チームの勝利の為に体を張る、自己犠牲の精神があるスポーツです。この自己犠牲の精神を海平さんには高校時代から教えていただき、今の私の中では大切な教訓となっております。熊本を誇りに思い、熊本県民の皆様をリスペクトし、体を張って政治活動に取り組んでもらえると信じております。そのような情熱を持ったラグーマンの海平さんを是非皆様にも応援していただきたく存じます。何卒、ご支援の程宜しくお願申し上げます。

元ラグビー日本代表選手

**立川 大介**

(たちかわ だいすけ)



#### プロフィール

S56.3.30生まれ 37歳  
 天草出身/本渡北小学校/本渡中学校  
 九州学院高校  
 ・熊本県ベスト8  
 ・熊本県選抜 九州代表  
 関東学院大学  
 ・2年次、3年次全国大学選手権優勝  
 ・2003年度日本代表スコッド選出  
 三洋電機ワイルドナイツ  
 ・日本選手権優勝  
 キャノンイーグルス  
 ・トップリーグ昇格  
 現在 株式会社 千原組



### 熊本県議会議員 熊本市第一選挙区

熊本市第一選挙区は 中央区、東区、北区です。

平成27年4月の熊本県議会議員選挙の熊本市選挙区が変更になりました。

はしぐち海平は **熊本市第一選挙区** です

#### はしぐち海平 Profile

生年月日/1979年(昭和54年)1月4日  
 家族構成/妻・子ども2人  
 趣味/ラグビー・スポーツ観戦  
 昭和60年3月 熊本音楽幼稚園 卒業  
 平成 3年3月 熊本市立出水南小学校 卒業  
 平成 6年3月 熊本市立出水南中学校 卒業  
 平成 9年3月 九州学院高等学校 第49回卒業  
 平成13年3月 徳山大学経済学部 卒業  
 平成13年4月 元法務大臣 保岡興治 秘書  
 平成23年4月 熊本県議会議員に初当選  
 平成27年4月 熊本県議会議員2期目当選

●現在の主な役職  
 熊本県議会経済環境常任委員長  
 自民党 熊本県連青年局長



R U G B Y

4年に一度じゃない。  
一生に一度だ。

# ラグビーワールドカップ2019日本大会

4年に一度開催されるラグビーの世界一決定戦  
夏季オリンピック・FIFAワールドカップとともに、世界3大スポーツイベントである。



開催期間

2019年 9月20日～11月2日 44日間

熊本での試合日程

熊本県民総合運動公園陸上競技場

2019年 10月 6日(日)16時45分～ フランス vs トンガ  
10月13日(日)17時15分～ ウェールズ vs ウルグアイ

H A N D B A L L

# 2019女子ハンドボール世界選手権大会

2年に一度開催される、女子ハンドボールの世界一決定戦。

開催期間

2019年 11月30日～12月15日 16日間

試合会場

パークドーム熊本・アクアドーム熊本・熊本県立総合体育館  
八代市総合体育館・山鹿市総合体育館



今年は二つの大きな世界大会、ラグビーワールドカップ2019と女子ハンドボール世界選手権大会が熊本の地で行われます。私は、高校、大学とラグビー部に所属しており、当初よりラグビーワールドカップ2019誘致活動に携わっており、ラグビーに対する恩返しの意味を込めて頑張っております。また女子ハンドボールも昨年末に熊本県で行われたアジア選手権を観戦し、選手たちのスピードや判断力に感動し、二つの世界大会を楽しみにしております。

またこの二つの世界大会を単なるスポーツ大会に終わらせるのではなく、レガシー(大会が熊本に残す遺産・長期にわたる、特にポジティブな影響)を残していく取り組みをしていかなければなりません。本県ではレガシープログラムを策定しており、1. 震災からの復興の姿の発信、2. スポーツの普及と振興、3. インバウンド観光の推進、4. 国際交流の促進の4つの方向性を打ち出しております。このレガシーが熊本の地にしっかりと残っていくことが、世界大会を行う意義でもあります。これらを推進するには政治や行政だけでなく、多くの民間の方々のご協力も必要です。大会までの期間もあと僅かとなりましたので、ご協力いただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

## 橋口海平のこれまでの主な取り組み

### ラグビーワールドカップ2019年の試合誘致について

熊本の経済、観光促進、スポーツ振興のため、世界3大スポーツ大会の一つと言われる、ラグビーワールドカップの誘致が必要なのは、

▶熊本ではフランスvsトンガ・ウェールズvsウルグアイが決定。また女子ハンドボール世界選手権と2つの世界大会を、熊本地震からの復興の姿を発信していく。



### ラグビーワールドカップに向けたスタジアムの改修について

ラグビーワールドカップ組織委員会からの改修の依頼が来ていると思うが、早い段階での改修が必要なのは、

▶主な改修は、チーム更衣室、照明の高照度化、観客席の改修、協議エリアの拡大、ゴールポスト等を改修。ワールドカップに向け、さらに改修箇所を改修していく。

### 公共無線LAN(wi-fi)の整備について

海外からの来訪者の利便性向上や災害時の情報伝達手段の観点でも必要な公衆無線LAN(wi-fi)の整備が必要なのは、

▶現在では「くまもとフリーwi-fi」が県関連施設を中心に整備されている。追加での整備も検討中。

### 技能士の育成について・技能検定実施に係る施設について

▶技能士が減少していくなか、技能を受け継ぐために若手技能士を育てていかなければならないとの思いがある。技能検定施設の充実などや、受講に対するの支援に取り組む。

### 改正品確法の適切な実施

改正品確法(公共工事の品質確保の促進に関する法律)の適正な実施、歩切根絶を市町村までに徹底する取り組みについて

▶市町村まで直接見直しを働きかけ、改正品確法(建設業界の疲弊を招く原因にも切り込み、現在だけでなく、将来にわたって公共工事の品質が確保されるよう、「担い手の育成と確保」を新たな目的とする)を徹底させていく。

## 中小企業における受注機会の確保について

議員提案において、県中小企業振興基本条例が小規模企業者に焦点をあてて改正された。市町村に対しての周知と活用促進が必要では、

▶県内の官公需における中小企業の受注を増やすためには、県及び市町村全体で取り組んでいく必要がある。そのため条例の改正内容をパンフレットやホームページ、説明会を通じて周知し、受注機会を増やしている。

## 熊本地震による公共施設の早期復旧について

▶国、県、市町村、建設業界による連絡会議を設置し、円滑に復旧、復興を加速する。

## ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)について

▶ZEH住宅(使うエネルギー≦創るエネルギーとなる住宅)普及のために講習会を開催

## 要配慮者の避難

要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児など、災害時に特別な配慮が必要となる人)に必要な支援が迅速に提供される体制が確立されるべきと考えるが、いかがか。

▶市町村に対して個別計画を作成させる。避難所運営マニュアルの見直しを検討。福祉避難所のマニュアルを作成し、実効性を確保する。



## 自主防災組織

地域防災力向上のために、自主防災組織の組織率向上と充実強化に取り組む。

## 手話の理解を広める取り組み

手話通訳者が未設置の市町村もあり、手話の講習を受ける人も減ってきている。手話通訳の人材育成、コーディネーターの人材育成、手話の理解を広める取り組みを要望。

## 熊本ヴォルターズの支援

ヴォルターズを通して熊本を元気にする活動に取り組む。